

# VI 資料編 (調査票)

## 1. 市民アンケート調査

### 尼崎市地域福祉に関するアンケート調査

「ご記入にあたってのお願い」

- 1 封筒宛名のご本人様をご記入ください。ご本人様をご記入できない場合は、代理の人がご本人様の意思を尊重してご回答くださいますようお願いいたします。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 3 回答できる質問だけでも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

※調査回答をパソコン、タブレット又はスマートフォンで行う方は  
右のQRコードを読み込むか、または「尼崎市 福祉課」で検索し、  
尼崎市福祉課のホームページにアクセスした後、画面下部に表示されている  
「あまがさき地域福祉に関するアンケート」からご回答ください。  
※ホームページからの調査回答には、WEB回答用のID [ama294001gsk]の入力が必ずです。

(尼崎市福祉課HP)  
検索



### 1 あなたご自身のことについて

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1)性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
	3 その他	4 回答しない	
(2)年齢 (○は1つ)	1 20～29 歳	2 30～39 歳	3 40～49 歳
	4 50～59 歳	5 60～69 歳	6 70～79 歳
	7 80 歳以上		
(3)家族構成 (○は1つ)	1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ(事実婚含む)	
	3 親子(親族の同居含む)	4 三世代(親族の同居を含む)	
	5 ひとり親と子ども		
	6 その他(自由記述)		
(4)居住地区 (○は1つ)	1 中央地区	2 小田地区	3 大庄地区
	4 立花地区	5 武庫地区	6 園田地区
(5)現在の住居での 居住年数 (○は1つ)	1 1年未満	2 1年以上5年未満	
	3 5年以上 10年未満	4 10年以上 30年未満	
	5 30年以上		
(6)職業 (主なもの1つに○)	1 勤め人(常勤・フルタイム)	2 勤め人(非常勤/パート/アルバイトなど)	
	3 自営業(家族従業員を含む)	4 学生	
	5 家事専業	6 年金生活者	
	7 その他(自由記述)		

1

### 2 ご近所とのつきあいや地域活動などについて

(問1) あなたは身近な地域の人とのどのような交流がありますか。(○は1つ)

1 困ったことがあった時に、相談できる人がいる	2 趣味活動などを一緒にする人がいる
3 世間話、立ち話をする程度の人がある	4 会えばあいさつをする程度の人がある
5 ほとんど近所とのつきあいはない	6 隣近所の顔も知らない
7 その他(自由記述)	

問1で「1」～「4」と回答した方に  
(問1-1) ご近所とのつきあいや地域活動などについて新型コロナウイルス感染症による影響はありましたか。(①-②のそれぞれについて、1～3のいずれかに○を1つずつ)

	1 減少した	2 変わらない	3 増加した
① 隣近所の住民とのコミュニケーション	( )	( )	( )
② 福祉協会(自治会・町会)等の地域の団体への関わり	( )	( )	( )

問1で「5」または「6」と回答した方に  
(問1-2) 身近な地域の人と交流がない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 必要性を感じないから	2 他者との交流が苦手だから
3 時間に余裕がないから	4 転入して間もないから
5 将来引越す予定だから	
6 その他(自由記述)	

再び、全ての方に  
(問2) 地域活動や学びの場に関して、①参加したことがあるもの、②今後参加したいと思うものについて、1～10の選択肢の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	①参加したことがある	②今後、参加したい
1 地域のおまつりやイベント	( )	( )
2 スポーツや健康づくりの活動	( )	( )
3 文化活動や趣味のサークルなどの活動	( )	( )
4 地域の防災や防犯のための活動	( )	( )
5 自分の住む地域の清掃活動	( )	( )
6 福祉協会(自治会・町会)、女性会、老人会、子ども会などの運営	( )	( )
7 地域福祉センター(別紙「用語解説」を参照)が開催している講座やイベント	( )	( )
8 福祉に関する研修やイベント(ミーティング・福祉など)	( )	( )
9 その他(自由記述)	( )	( )
10 特になし	( )	( )

2

### 3 ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動について

(問3) これまでに、日常のちょっとした声掛けや手助けなどをしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある      2 ない

(問4) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に参加していますか。(○は1つ)  
※職場、学校等で取り組んでいる地域でのボランティア活動、福祉協会(自治会・町会)の役員を含む

1 現在、参加している      2 以前参加したことがある

3 参加したことはない

問4で「1」または「2」と回答した方に  
(問4-1) あなたが、活動に参加したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1 近所や地域の人に誘われたため
2 さえさあい地域活動センター「むすぶ」(別紙「用語解説」を参照)のボランティア養成研修会の受講
3 上記2以外の、ボランティア講座などの受講
4 市報や各種ホームページ、SNS(別紙「用語解説」を参照)等の募集
5 その他(自由記述)

問4で「1」または「2」と回答した方に  
(問4-2) あなたが活動をする中で、困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1 活動メンバーが不足している
2 活動メンバーが固定化し、新しい人がはいてこない(高齢化している)
3 活動のための資金が不足している
4 活動のための場所がない
5 その他(自由記述)

問4で「3」と回答した方に  
(問4-3) 活動に参加していない理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1 福祉協会(自治会・町会)がないため	2 仕事や家事などで時間に余裕がないため
3 活動の情報を知らないため	4 参加するきっかけがないため
5 一人では参加しづらいため	6 興味・関心がないため
7 地域とかかわりあいを持ちたくないため	8 その他(自由記述)

3

再び、全ての方に  
(問5) 日常のちょっとした声掛けや手助けなどを含めた地域の支え合いにつながる活動をした中で、良かったことはありますか。(○はいくつでも)

1 友人を得ることができた	2 生活に充実感ができた
3 知識や技能が身についた	4 活動そのものが楽しかった
5 自分に自信がついた	6 福祉への関心が高まった
7 人に感謝され喜びを感じた	
8 その他(自由記述)	
9 特になし	10 活動等をしたことがない

(問6) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に関して、

①あなたが、現在参加している(これまでにしたことがある)活動  
②あなたが、今後、新たに参加してみたい活動  
③身近な人あるいは地域の人が困っていて必要と感じていると思う活動  
について、1～12の選択肢の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	①参加している活動	②新たに参加したい活動	③地域に必要な活動
1 高齢者、障害のある人、子ども等の見守り活動	( )	( )	( )
2 高齢者、障害のある人等のゴミ出しや買い物などの日常的な支援活動	( )	( )	( )
3 高齢者、障害のある人等の身体的介助などの支援活動	( )	( )	( )
4 障害のある人のコミュニケーション(手話・要約筆記・書記・点字など)の支援活動	( )	( )	( )
5 ふれあい喫茶などの地域の高齢者の集い場や、いきいき百歳体操などの健康づくり、介護予防に関する活動	( )	( )	( )
6 主に子どもに食事や学習等を提供する居場所づくりの活動	( )	( )	( )
7 一時預かりなどの子育てに関する支援活動	( )	( )	( )
8 災害時に支援を必要とする要配慮者(別紙「用語解説」を参照)の避難支援等の防災活動	( )	( )	( )
9 文化・芸術を生かした地域の交流活動	( )	( )	( )
10 リサイクルや美化活動などの環境保全活動	( )	( )	( )
11 その他(自由記述)	( )	( )	( )
12 特になし	( )	( )	( )

4

(問7) あなたが、高齢者や障害のある人等の見守りや支え合い活動に参加する場合、活動しやすいと思われる範囲をおたずねします。(〇は1つ)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 福祉協会(自治会・町会)の区域 | 2 社会福祉連絡協議会(連協)の区域 |
| 3 小学校の区域          | 4 中学校の区域           |
| 5 その他(自由記述)       |                    |

#### 4 さまざまな困りごとについて

(問8) あなたが日常生活において感じている不安には、どのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 仕事や収入(生活費含む)のこと | 2 自分や家族の心身の健康のこと      |
| 3 自分や家族の老後の生活のこと  | 4 人間関係のこと(家族や友人、近隣など) |
| 5 子育てに関すること       | 6 介護、介助に関すること         |
| 7 住まいのこと          | 8 相談相手がいらないこと         |
| 9 災害にあった時のこと      |                       |
| 10 その他(自由記述)      |                       |
| 11 特になし           |                       |

(問9) あなたが、困りごとがあった時に相談できる人(窓口)はだれ(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- |                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 家族・親族                  | 2 友人や知人、近所の人                 |
| 3 福祉協会(自治会・町会)等の役員       | 4 民生児童委員(※)                  |
| 5 南部・北部保健福祉センター(※)       | 6 子どもの育ち支援センター「いくしあ」(※)      |
| 7 6地区の地域協賛センター(※)        | 8 各地域総合センター(※)               |
| 9 5～8以外の市役所、保健所の各窓口      | 10 社会福祉協議会・地域福祉活動専門員(CSW)(※) |
| 11 地域包括支援センター(※)         | 12 ケアマネジャー(※)                |
| 13 障害者相談支援事業所(※)         | 14 福祉施設や福祉サービス事業所            |
| 15 医療機関の医師、相談員など         | 16 インターネットやSNS(※)            |
| 17 その他(自由記述)             |                              |
| 18 相談できる人(窓口)はいない(を知らない) |                              |
| 19 相談しようとは思わない           |                              |

→ 問9-1A

5

問9で「18」または「19」と回答した方に  
(問9-1) その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 相談の仕方がわからないため    | 2 困りごとを他人に知られたくないため |
| 3 他人に迷惑をかけたくないため   | 4 他人に干渉してほしいくないため   |
| 5 相談しても無駄だと感じているため |                     |
| 6 その他(自由記述)        |                     |

再び、全ての方に  
(問10) あなたの身近所に暮らしの困りごと(※)を抱えている人がいた場合に、市や支援機関の窓口にご相談や報告を行いますか。(〇は1つ)

- |             |   |
|-------------|---|
| 1 相談・報告をする  | ※「暮らしの困りごと」の例<br>○定額が過ぎてゴミ出しや日常生活が難しい人がある<br>○学校に行けていない子どもがいる<br>○郵便物がたまって顔を見かけない人がある<br>○犬猫などの動物(ペット)が適切な飼育ができないほど増えてい<br>る家など |
| 2 相談・報告はしない |   |

問10で「2」と回答した方に  
(問10-1) その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 本人が自分で相談することだから
- 地域の民生児童委員などが把握して対応することだから
- 行政の担当者が把握して対応することだから
- 自分が相談・報告することではないから
- 本人のプライバシーに関わることだから
- どこに相談したらよいかわからないから
- 近隣とのトラブルに巻き込まれたくないから
- その他(自由記述)

6

再び、全ての方に  
(問11) 暮らしの困りごとに関する制度を調べる時の情報はどこですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 市報            | 2 市の各窓口(コールセンター含む) |
| 3 インターネットやSNS   | 4 地域の掲示板や回覧板       |
| 5 公共施設の窓口にあるチラシ | 6 社会福祉施設、医療機関      |
| 7 民生児童委員        | 8 友人、知人などからの口コミ    |
| 9 その他(自由記述)     |                    |
| 10 調べたことはない     |                    |

#### 5 権利擁護に関する制度について

(問12) あなた自身やあなたの家族や親族が、判断が十分にできなくなり生活に支障が生じた場合に、成年後見制度(※)を利用したいと思えますか。(①・②について、1～3のいずれかに〇を1つずつ)  
※認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、家庭裁判所が選んだ後見人が財産を管理したり、介護などのサービスや施設入所に関する契約を結ぶなどの支援を行う制度

- |                |         |           |         |
|----------------|---------|-----------|---------|
|                | 1 利用したい | 2 利用したくない | 3 わからない |
| ① あなた自身の場合     | ( )     | ( )       | ( )     |
| ② あなたの家族や親族の場合 | ( )     | ( )       | ( )     |

問12の①・②のいずれかに「2」または「3」と回答した方に  
(問12-1) 成年後見制度を利用したいと思わない理由は何ですか。  
①あなた自身の場合、②あなたの家族や親族の場合について、1～10の選択肢の中からあてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- |                           | ①あなた自身の場合 | ②家族や親族の場合 |
|---------------------------|-----------|-----------|
| 1 後見人でなくても家族がいるから         | ( )       | ( )       |
| 2 費用がどのくらいかかるか心配だから       | ( )       | ( )       |
| 3 手続きが大変そうだから             | ( )       | ( )       |
| 4 後見人になってほしい人が見当たらないから    | ( )       | ( )       |
| 5 他人に財産などを任せると不安があるから     | ( )       | ( )       |
| 6 家族・親族との信頼関係が崩れるおそれがあるから | ( )       | ( )       |
| 7 どういうときに利用して良いかわからないから   | ( )       | ( )       |
| 8 制度のことをよく知らないから          | ( )       | ( )       |
| 9 なんともなく                  | ( )       | ( )       |
| 10 その他(自由記述)              | ( )       | ( )       |

7

再び、全ての方に  
(問13) あなたのまわりに、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(〇は1つ)

- |      |       |         |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

(問14) 成年後見制度について相談できるところをご存じですか。(〇はいくつでも)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1 尼崎市成年後見等支援センター(※) | 2 市役所の市民相談窓口           |
| 3 家庭裁判所             | 4 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等) |
| 5 地域包括支援センター        | 6 障害者相談支援事業所           |
| 7 その他(自由記述)         |                        |
| 8 知らない              |                        |

※尼崎市成年後見等支援センター  
南部・北部保健福祉センター内に設置された、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、支援者からの相談に応じ、申立の支援等を行っている窓口。関係機関と密接に連携し成年後見制度の普及啓発や、市民後見人の育成など権利擁護の推進に取り組んでいます。

#### 6 非行や犯罪をした人の立ち直りについて

(問15) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 住まいの確保の支援 | 2 就労支援    |
| 3 就学支援      | 4 経済的な支援  |
| 5 地域住民の理解   | 6 人とのつながり |
| 7 その他(自由記述) |           |
| 8 支援は必要ない   |           |

(問16) あなたは、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(〇は1つ)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 思う           | 2 どちらかといえば思う |
| 3 どちらかといえば思わない | 4 思わない       |
| 5 わからない        |              |

8

問16で「1」または「2」と回答した方に

(問16-1) どのような協力をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 保護司(※1)になるなど、非行や犯罪をした人に直接会って助言や援助をする
- 2 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する
- 3 更生保護(※2)に関するボランティア活動に参加する
- 4 犯罪予防や更生保護に関する広報・啓発活動に参加する
- 5 犯罪予防や更生保護に関することを学ぶ
- 6 その他(自由記述)

※1 保護司…保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。犯罪や非行をした人が刑務施設や少年院から社会復帰を果たしたとき、スムーズに社会生活を営めるよう釈放後の住居や就業などの居住環境の調整や相談を行うなど、立ち直りを地域で支える無報酬のボランティアとして活動している。

※2 更生保護…犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で適切に処遇することにより、その再犯を防止、非行をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することを助けることで、社会を保護し、個人と公共の福祉を促進しようとする活動。

問16で「3」または「4」と回答した方に

(問16-2) 協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
- 2 非行や犯罪をした人、かかわりを持ちたくないから
- 3 非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
- 4 自分自身にメリットがないから
- 5 具体的なイメージがわからないから
- 6 時間的余裕がないから
- 7 興味がないから
- 8 非行や犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
- 9 非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから
- 10 その他(自由記述)

### 7 災害時の支援について

(問17) あなたは南海トラフ巨大地震(※)の想定浸水域内にお住まいですか。(〇は1つ)

※「南海トラフ巨大地震」とは、太平洋沖を震源とする大規模な地震津波災害で、国の試算によれば、30年以内に70~80%の確率で起きると予測されています。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

(問18) あなたは、南海トラフ巨大地震が起きた際に、お住まいの地域でどれくらいの被害が想定されているかをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 まあまあ知っている
- 3 あまりよく知らない
- 4 知らない

(問19) 風水害や地震などの災害が起こったとき、あなたはどこに避難しますか。候補として考えているところにすべて〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 指定避難所
- 2 福祉避難所(※)
- 3 市内の家族・親戚の家
- 4 市外の家族・親戚の家
- 5 市内の友人・知人の家
- 6 市外の友人・知人の家
- 7 宿泊施設
- 8 その他(自由記述)
- 9 わからない

※ 福祉避難所  
高齢者や障害のある人など、要支援者に配慮した避難所のことであり、バリアフリーや冷熱雨が完備されているなど要支援者の利用に適した環境を提供できる施設。福祉避難所は災害時に必要に応じて開設する2次避難所であり、最初から利用することはできない。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

(問20) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかをご存じでしたか。(〇は1つ)

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはある
- 3 知らなかった

(問21) 災害が起こったときに、あなたが安否確認等の声かけをしてもらいたいと思う人は誰ですか。(〇は1つ)

- 1 家族や親族
- 2 近所や地域の知り合いの人
- 3 福祉協会(自治会・町会)
- 4 民生児童委員
- 5 消防
- 6 警察
- 7 利用している福祉サービスの事業者
- 8 その他(自由記述)
- 9 特にいない

(問22) 災害が起こったときに、あなたは、安否確認等の声かけや避難所での手伝いなどの活動をしようと思えますか。(〇は1つ)

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

(問23) 災害時の対策として国、県や市が進めている次のようなことをご存じですか。(①・②のそれぞれについて、1・2のどちらかに〇を1つ)

- ① 高齢者や障害者などの災害時の要配慮者の名簿を作成して、地域の支援関係者へ提供を行っていること
- ② 要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別支援計画の作成を支援していること

(問24) 地域にお住まいの高齢者等の要配慮者の避難支援に関して、①あなたが日頃から取り組んでいること、②地域で取り組むことが必要だと思うことについて、1~7の選択肢の中からあてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 地域の要配慮者の把握 ( ) ( )
- 2 防災マップ(※)を活用し避難所や経路の確認 ( ) ( )
- 3 避難場所や備品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有 ( ) ( )
- 4 要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加 ( ) ( )
- 5 要配慮者への日頃からの防災の声かけ ( ) ( )
- 6 その他(自由記述) ( ) ( )
- 7 特になし ( ) ( )

※ 防災マップ  
台風や大雨、地震といった災害が起こった時に、住んでいる地域のどこにどのような危険があるか、また、災害時の避難場所等の情報を地図上にまとめたもの。市では、地震、洪水、津波、高潮ごとにハザードマップを作成している。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

### 8 さいごに

(問25) アンケートに回答した上で尼崎市のこれからの福祉に関するまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

調査は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



## 2. 民生児童委員アンケート調査

### 尼崎市 地域福祉に関する民生児童委員アンケート調査

#### 「ご記入にあたってのお願い」

- 1 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 2 回答できる質問だけでも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

#### 1 あなたご自身のことについて

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1)年齢 (○は1つ)	1 20～29 歳	2 30～39 歳
	3 40～49 歳	4 50～59 歳
	5 60～69 歳	6 70 歳以上
(2)民生児童委員 としての活動年数 (○は1つ)	1 3年未満	2 3年以上6年未満
	3 6年以上9年未満	4 9年以上12年未満
	5 12年以上15年未満	6 15年以上
(3)担当区域が属する 地区 (○は1つ)	1 中央地区	2 小田地区
	3 大庄地区	4 立花地区
	5 武津地区	6 園田地区
(4)活動頻度 (○は1つ)	1 ほぼ毎日	2 週2～3日
	3 週1日程度	
	4 その他(自由記述)	
	[ ]	
(5)民生児童委員以外 の地域での役割 (○はいくつでも)	1 保護司	2 福祉協会(自治会・町会)役員
	3 消防団	4 尼崎市少年補導委員
	5 少年補導員	
	6 その他(自由記述)	
	[ ]	

1

#### 2 新型コロナウイルス感染症の影響について

(問1) ご近所とのつきあいや地域活動などについて新型コロナウイルス感染症による影響はありましたか。  
(①・②のそれぞれについて、1～3のいずれかに○を1つずつ)

- |                            |        |         |        |
|----------------------------|--------|---------|--------|
|                            | 1 減少した | 2 変わらない | 3 増加した |
| ① 隣近所の住民とのコミュニケーション        | ( )    | ( )     | ( )    |
| ② 福祉協会(自治会・町会)等の地域の団体への関わり | ( )    | ( )     | ( )    |

(問2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、担当区域で発生した又は懸念される課題は何ですか。  
(○はいくつでも)

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| 1 DV(別紙「用語解説」を参照)や虐待の増加 | 2 高齢者の ADL(別紙「用語解説」を参照)の低下 |
| 3 経済不安による相談の増加          | 4 治安の悪化                    |
| 5 孤独死の増加                | 6 ふれあいサロンや地域食堂等の居場所の減少     |
| 7 見守り活動の停滞              | 8 その他(自由記述)                |
| 9 特になし                  | [ ]                        |

#### 3 担当区域の状況について

(問3) 現在、担当区域で対応している要援護者はどのくらいいますか。  
(把握していない場合は空欄としてください。)

※ 1世帯で複数の課題がある場合は対応している主な内容で、世帯数に計上してください。

- |                               |        |
|-------------------------------|--------|
| 1 認知症(疑いも含む)の方の対応             | 約( )世帯 |
| 2 高齢者、障害者虐待(疑いも含む)            | 約( )世帯 |
| 3 子どもの虐待(疑いも含む)               | 約( )世帯 |
| 4 DVの対応                       | 約( )世帯 |
| 5 子どもの貧困の対応                   | 約( )世帯 |
| 6 引きこもりの対応                    | 約( )世帯 |
| 7 8050 問題(別紙「用語解説」を参照)への対応    | 約( )世帯 |
| 8 薬物依存症・アルコール依存症の対応           | 約( )世帯 |
| 9 ゴミ屋敷の対応                     | 約( )世帯 |
| 10 犬猫の多頭飼育崩壊(別紙「用語解説」を参照)への対応 | 約( )世帯 |
| 11 高齢者・障害者等の消費者被害への対応         | 約( )世帯 |
| 12 その他の課題(自由記述)               | 約( )世帯 |

2

(問4) 担当区域において、支援を必要だと思ふものの、支援を受けていない又は拒否している事例はありますか。(○は1つ)

- 1 ある ⇒ 約( )世帯      2 ない      3 把握していない

問4で「1」と回答した方に  
(問4-1) わかる範囲で結構ですので、支援を受けていない又は拒否している理由を教えてください。

(問5) 担当区域が属する福祉協会(地域福祉活動(ふれあい喫茶や老人給食、子育てサロンなどの集いの場や高齢者等の見守り活動など)が行われていますか。(○は1つ)

- 1 行われている      2 行われていない      3 把握していない

問5で「2」と回答した方に  
(問5-1) 地域福祉活動が行われていない理由は何だと思われますか。(○はいくつでも)

- 1 福祉協会(自治会・町会)がなく、中心となる活動者もいないため
- 2 福祉協会(自治会・町会)はあるが、中心となる活動者がいないため
- 3 NPO(別紙「用語解説」を参照)などの地域の活動団体がいないため
- 4 新型コロナウイルス感染拡大により一時的に中止しているため
- 5 その他(自由記述) [ ]

(問6) 民生児童委員活動を通して把握している担当区域の生活・福祉課題は何ですか。(○はいくつでも)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 認知症(疑いも含む)の増加    | 2 高齢者・障害者虐待(疑いも含む)の増加 |
| 3 子どもの虐待(疑いも含む)の増加 | 4 DV被害の増加             |
| 5 子どもの貧困           | 6 引きこもりの世帯の増加         |
| 7 8050 問題を抱える世帯の増加 | 8 高齢者・障害者等の消費者被害の増加   |
| 9 薬物依存・アルコール依存症の増加 | 10 ゴミ屋敷の増加            |
| 11 犬猫の多頭飼育崩壊の世帯の増加 | 12 災害時の要援護者の避難支援      |
| 13 身寄りのない高齢者の増加    | 14 その他(自由記述)          |

(問7) あなたが支援をしている対象者又は世帯に複数の課題(生活困窮、障害・介護サービスが必要な状況、引きこもり、虐待等)が重なり、支援困難な事例がありますか。(○は1つ)

- 1 よくある      2 とときどきある      3 あまりない      4 ほとんどない

3

#### 4 関係団体との連携について

(問8) あなたの関係団体との連携に関して、  
① 普段の活動の中で相談したり協力を求めること  
② これからの活動の中で新たに相談や連携が必要と考えていること  
について、1～14の選択肢の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                              |         |           |
|------------------------------|---------|-----------|
|                              | ① 普段の活動 | ② これからの活動 |
| 1 南部・北部保健福祉センター              | ( )     | ( )       |
| 2 子どもの育ち支援センター「いくしあ」         | ( )     | ( )       |
| 3 6地区の地域振興センター(※)            | ( )     | ( )       |
| 4 各地域総合センター(※)               | ( )     | ( )       |
| 5 上記以外の本庁、保健所の各窓口            | ( )     | ( )       |
| 6 地域包括支援センター(※)              | ( )     | ( )       |
| 7 クアマネジャー(※)                 | ( )     | ( )       |
| 8 障害者相談支援事業所(※)              | ( )     | ( )       |
| 9 福祉協会(自治会・町会)等の役員           | ( )     | ( )       |
| 10 地域福祉活動専門員(社協支部事務局)(※)     | ( )     | ( )       |
| 11 福祉サービスを行う民間事業者(NPO 法人も含む) | ( )     | ( )       |
| 12 医療機関の医師、相談員               | ( )     | ( )       |
| 13 学校・保育所等の子どもに関する機関         | ( )     | ( )       |
| 14 その他(自由記述)                 | ( )     | ( )       |

(問9) 社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会では、住民同士がささえあう・助け合う地域づくりを進めるため、各6地区に、ささえあい地域活動センター「むすぶ」を設置し、地域住民の様々な相談対応や、地域活動の立ち上げ支援、地域活動の担い手の育成等を行っているのをご存じですか。(○は1つ)

- 1 名称も役割も知っている
- 2 名称は知っているが、役割はよく知らない
- 3 名称も役割も全く知らない

(問10) 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議のうち、参加しているものはどれですか。  
(○はいくつでも)

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 1 地域ケア会議(地域包括支援センター主催) | 2 個別ケース会議(南部・北部保健福祉センター主催) |
| 3 個別ケース会議(いくしあ主催)      | 4 1～3以外の個別ケース会議            |
| 5 参加したことはない            |                            |

4

(問11) 地域住民や他機関と相談、協働する際に、どういったことにお困りですか。(〇はいくつでも)

- 1 他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない
- 2 他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
- 3 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
- 4 個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
- 5 その他(自由記述)
- 6 これまでに困ったことはない

(問12) 担当区域の生活・福祉課題を解決するために関係機関や関係者が集まり定期的に話し合う場はありますか。(〇は1つ)

- 1 ある
- 2 ない
- 3 把握していない

(問13) 生活・福祉課題について話し合う場合は、どの範囲にあれば良いと思われませんか。(〇は1つ)

- 1 福祉協会(自治会・町会)の区域
- 2 社会福祉連絡協議会(連絡)の区域
- 3 小学校の区域
- 4 中学校の区域
- 5 各6行政区
- 6 その他(自由記述)

(問14) あなたが、地域の福祉事業者に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力
- 2 地域活動のための施設や設備の地域住民への開放
- 3 地域活動への参加・協働
- 4 地域で困りごとの相談を受けられる窓口の設置
- 5 地域への福祉等に関する情報発信
- 6 事業所の行事等の参加案内
- 7 その他(自由記述)
- 8 特に期待することはない

5

## 5 地域のボランティア活動を充実させるための方法について

(問15) さまざまな方が、ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に積極的に参加するためには、どういった条件や仕組みが必要だと思われませんか。(〇はいくつでも)

- 1 自分の時間の都合に合わせて活動できること
- 2 自分の体力に合わせて活動できること
- 3 自分の住む地域で活動できること
- 4 自分の住む地域以外で活動できること
- 5 知識や資格を取得できる仕組みがあること
- 6 自分の知識や経験、技能を活かせること
- 7 活動している団体の情報や活動内容がホームページなどでいつでも確認できること
- 8 友達や家族と一緒に活動できること
- 9 交通費など実費相当の費用の支援があること
- 10 その他(自由記述)

(問16) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動を充実させるために、どのような取り組みが必要だと思いませんか。ご自身の意見を記載してください。

.....

.....

.....

.....

.....

6

## 6 権利擁護に関する制度について

(問17) あなたは、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)(※)についてご存じですか。(〇は1つ)

※認知症や障害などにより福祉サービスの利用や生活費などを計画的に使うことに不安のある方が、地域において自立した生活が送れるよう、社会福祉協議会が利用者本人との契約に基づいて、日常的な生計援助を行う事業

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問18) 担当区域に日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用が必要と思われる方はいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

(問19) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用において、どのようなことが課題だと思いませんか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない
- 5 手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 その他(自由記述)
- 7 わからない

(問20) あなたは、成年後見制度(※)についてご存じですか。(〇は1つ)

※認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、家庭裁判所が選んだ後見人が財産を管理したり、介護などのサービスや施設入所に関する契約を結ぶなどの支援を行う制度

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問21) 担当区域に成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

7

(問22) 成年後見制度の利用において、どのようなことが課題だと思いませんか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない
- 5 手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 申立てから決定までに時間がかかる
- 7 その他(自由記述)
- 8 わからない

(問23) 権利擁護の各種制度について、相談ができる場所をご存じですか。(〇はいくつでも)

- 1 尼崎市成年後見等支援センター(※)
- 2 市役所の市民相談窓口
- 3 家庭裁判所
- 4 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等)
- 5 地域包括支援センター
- 6 障害者相談支援事業所
- 7 その他(自由記述)
- 8 知らない

※尼崎市成年後見等支援センター  
南部・北部保健福祉センター内に設置された、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、支援者からの相談に応じ、申立の支援等を行っている窓口。関係機関と密接に連携し成年後見制度の普及啓発や、市民後見人の育成など権利擁護の推進に取り組んでいる。

## 7 非行や犯罪をした人の立ち直りについて

(問24) 非行や犯罪をした人の立ち直りのために必要だと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 住まいの確保の支援
- 2 就労支援
- 3 就学支援
- 4 経済的な支援
- 5 地域住民の理解
- 6 人とのつながり
- 7 その他(自由記述)
- 8 特になし

8

(問25) あなたは、民生児童委員として、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますが

- 1 思うすでに協力している
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問25で「1」または「2」と回答した方に  
(問25-1) どのような協力をしたいと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 保護司(※1)が行う支援に協力をする
- 2 再犯防止に関するボランティア活動への協力を行う
- 3 広報・啓発活動に協力する
- 4 犯罪予防や更生保護(※2)に関することを学ぶ
- 5 その他(自由記述)

※1 保護司…保護司法に基づき法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員。犯罪や非行をした人が刑事施設や少年院から社会復帰を果たしたとき、スムーズに社会生活を営めるよう釈放後の住所や就業先などの居住環境の調整や相談を行うなど、立ち直りを地域で支える無報酬のボランティアとして活動している。

※2 更生保護…更生保護は、犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で適切に処遇することにより、その再犯を防止、非行をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することを助けることで、社会を保護し、個人と公共の福祉を増進しようとする活動。

問25で「3」または「4」と回答した方に  
(問25-2) 協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 自分や家族の身に何か起きないか不安だから
- 2 非行や犯罪をした人と、かかわりを持ちたくないから
- 3 非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
- 4 メリットがないから
- 5 具体的なイメージがわからないから
- 6 時間的余裕がないから
- 7 興味がないから
- 8 非行や犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
- 9 非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから
- 10 その他(自由記述)

### 8 災害時の支援について

(問26) あなたは南海トラフ巨大地震(※)想定淡水域内にお住まいですか。(〇は1つ)

※「南海トラフ巨大地震」とは、太平洋沖を震源とする大規模な地震津波災害で、国の試算によれば、30年以内に70～80%の確率で起きると予測されています。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

(問27) あなたは、南海トラフ巨大地震が起きた際に、お住まいの地域でどれくらいの被害が想定されているかをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 まあまあ知っている
- 3 あまりよく知らない
- 4 知らない

(問28) 風水害や地震などの災害が起こったとき、あなたはどこに避難しますか。候補として考えているところにすべて〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 指定避難所
- 2 福祉避難所(別府用語解説を参照)
- 3 市内の家族・親戚の家
- 4 市外の家族・親戚の家
- 5 市内の友人・知人の家
- 6 市外の友人・知人の家
- 7 宿泊施設
- 8 その他(自由記述)
- 9 わからない

(問29) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかをご存じでしたか。(〇は1つ)

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはある
- 3 知らなかった

(問30) あなたの担当区域には、災害時の要配慮者(※)に該当するかは何人くらいいますか。(〇は1つ)  
※高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、その他の特に配慮を要する人(災害対策基本法第8条)。

- 1 9人以下
- 2 10～29人
- 3 30～59人
- 4 60～99人
- 5 100人以上
- 6 わからない

(問31) あなたは、高齢者名簿兼避難行動要支援者名簿を日頃活用していますか。(〇は1つ)

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 その他(自由記述)

(問32) 地域にお住まいの要配慮者の避難支援のため、国や県、市は要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別支援計画の作成支援を進めていることをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 知らない

(問33) 地域にお住まいの高齢者等の要配慮者の避難支援に関して、  
① あなたが日頃から取り組んでいること  
② 地域で取り組む必要があると思われること  
について、1～7の選択肢の中からあてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- |                              | ①日頃の取組      | ②地域で必要な取組   |
|------------------------------|-------------|-------------|
| 1 地域の要配慮者の把握                 | ( ) ( )     | ( ) ( )     |
| 2 防災マップ(※)を活用した避難場所や避難経路等の確認 | ( ) ( )     | ( ) ( )     |
| 3 避難場所や備品、避難情報の入手方法等の防災情報の共有 | ( ) ( )     | ( ) ( )     |
| 4 要配慮者の支援を想定した避難訓練の参加        | ( ) ( )     | ( ) ( )     |
| 5 要配慮者への日頃からの防災の声かけ          | ( ) ( )     | ( ) ( )     |
| 6 その他(自由記述)                  | ( ) ( ) ( ) | ( ) ( ) ( ) |
| 7 特になし                       | ( ) ( ) ( ) | ( ) ( ) ( ) |

※防災マップ  
台風や大雨、地震といった災害が起こった時に、住んでいる地域のどこにどのような危険があるか、また、災害時の避難場所等の情報を地図上にまとめたもの。市では、地震、洪水、津波、高潮ごとにハザードマップを作成している。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

### 9 その他

(問34) 民生児童委員活動において、お困りのことやご提案があれば教えてください。

.....

.....

.....

.....

お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。



### 3. 保護司アンケート調査票

#### 尼崎市 地域福祉に関する保護司アンケート調査

「ご記入にあたってのお願い」

- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 回答できる質問だけでも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

#### 1 あなたご自身のこと・活動の状況について

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1)年齢 (○は1つ)	1 20～29歳	2 30～39歳
	3 40～49歳	4 50～59歳
	5 60～69歳	6 70歳以上
(2)保護司としての活動年数 (○は1つ)	1 2年未満	2 2年以上6年未満
	3 6年以上12年未満	4 12年以上18年未満
	5 18年以上22年未満	6 22年以上
(3)所属分会 (○は1つ)	1 本庁分会	2 小田分会
	3 大庄分会	4 立花分会
	5 武庫分会	6 園田分会
(4)保護司になったきっかけ (○は1つ)	1 保護司をしていた友人・知人・家族等から薦められた	
	2 福祉協会(自治会・町会)役員など地元の関係者から依頼された	
	3 自ら進んで関係機関・関係者に申し出た	
	4 その他(自由記述)	
(5)現在担っている保護司以外の地域での役割 (○はいくつでも)	1 民生児童委員	
	2 福祉協会(自治会・町会)役員	
	3 消防団	
	4 尼崎市少年補導委員	
	5 少年補導員	
	6 その他(自由記述)	

1

#### 2 新型コロナウイルス感染症の影響について

(問1) 新型コロナウイルス感染症拡大により保護司活動への影響はありましたか。(○はいくつでも)

- 対象者への支援における影響  
⇒具体的に
- 啓発活動への影響  
⇒具体的に
- その他(自由記述)  
⇒具体的に
- 特に影響はない

#### 3 保護観察対象者への支援について

(問2) あなたは、保護観察に関する活動について、どの程度不安や負担に感じることがありましたか。(①～⑥のそれぞれについて、○は1つずつ)

	1 とても感じている	2 ある程度感じている	3 あまり感じている	4 ほとんど感じている	5 ほとんど感じていない	6 その経験がない
① 保護観察対象者の住居の確保	( )	( )	( )	( )	( )	( )
② 保護観察対象者の就職先の確保	( )	( )	( )	( )	( )	( )
③ 帰宅先となる家族への対応	( )	( )	( )	( )	( )	( )
④ 薬物やアルコール依存症等を原因として罪を犯した保護観察対象者の支援	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑤ 障害や認知症のある、又は疑われる保護観察対象者の支援	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑥ 支援が必要だと考える人の行政へのつなぎ	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑦ 支援が必要だと考えられるが、拒否する保護観察対象者への対応	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑧ 保護観察対象者との面接場所(自宅以外)の確保	( )	( )	( )	( )	( )	( )
⑨ その他(自由記述)	( )	( )	( )	( )	( )	( )

2

(問3) 対象者との面談の際には、新たに建て替わった生涯学習プラザ(地域振興センター(別紙「用語解説」を参照))内の部屋が利用できますが、あなたは利用していますか。(○は1つ)

1 よく利用している      2 とときどき利用している  
3 利用していない

問3で「1」または「2」と回答した方に  
(問3-1) 利用している理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 対象者が来やすい
- 自宅で面談を行うことに抵抗がある
- 家が高い
- その他(自由記述)

問3で「3」と回答した方に  
(問3-2) 利用していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 利用できることを知らなかった
- 面談は自宅で行う方がよい
- 家から遠い
- 近くの生涯学習プラザ(地域振興センター)が建て替わっていないから
- その他(自由記述)

(問4) 再犯防止のためにどういった支援が必要だと思いますか。(特に重要と考えるもの3つまでに○)

- 犯罪をした人の支援を考えるネットワーク(病院、学校、福祉施設等の機関や保護司、民間団体で構成)
- 住民の理解を得るための広報・啓発活動
- 犯罪をした人の就職先の確保
- 犯罪をした人の居場所の提供
- 犯罪をした人への医療・福祉サービスに関する情報提供
- 再犯防止を支援する民間団体等の活動の場の提供や活動の情報発信
- 犯罪をした人の個々の実情や特性に応じた相談を受け付ける相談窓口
- 犯罪をした人が再び学ぶための入学・編入等の支援
- その他(自由記述)

3

#### 4 他の関係機関等との連携について

(問5) あなたがこれまでに担当した保護観察対象者に、複数の課題(生活困窮、障害・介護サービスが必要な状況、引きこもり、虐待等)が重なり、支援困難な事例がありましたか。(○は1つ)

- よくある
- ときどきある
- あまりない
- ほとんどない

(問6) 社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会(別紙「用語解説」を参照)では、住民同士がささえあう・助け合う地域づくりを進めるため、各6地区に、ささえあい地域活動センター「むすぶ」を設置し、地域住民の様々な相談対応や、地域活動の立ち上げ支援、地域活動の担い手の育成等を行っているのを存じますか。(○は1つ)

- 名称も役割も知っている
- 名称は知っているが、役割はよく知らない
- 名称も役割も全く知らない

(問7) あなたの関係団体との連携に関して、

- 普段の活動の中で相談したり協力を求めるところ
- これからの活動の中で新たに相談や連携が必要と考えているところ

について、1～16の選択肢の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	① 普段の活動	② これからの活動
1 南部・北部保健福祉センター(※)	( )	( )
2 子どもの育ち支援センター「いくしあ」(※)	( )	( )
3 6地区の地域振興センター	( )	( )
4 各地域総合センター(※)	( )	( )
5 上記以外の本庁、保健所の各窓口	( )	( )
6 地域包括支援センター(※)	( )	( )
7 ケアマネジャー(※)	( )	( )
8 障害者相談支援事業所(※)	( )	( )
9 福祉協会(自治会・町会)等の役員	( )	( )
10 民生児童委員(※)	( )	( )
11 ボランティア団体	( )	( )
12 地域福祉活動専門員(社協支部事務局)(※)	( )	( )
13 福祉サ ビスを行う民間事業者(NPO(※)法人も含む)	( )	( )
14 医療機関の医師、相談員	( )	( )
15 学校・保育所等の子どもに関する機関	( )	( )
16 その他(自由記述)	( )	( )

4

(問8) 対象者の支援にあたって他の関係機関へ相談する際、どういったことにお困りですか。(〇はいくつでも)

- 1 他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良い分からない
- 2 他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
- 3 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
- 4 個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
- 5 その他(自由記述)
- 6 これまでに困ったことはない

### 5 権利擁護に関する制度について

(問9) あなたは、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)(※)についてご存じですか。(〇は1つ)

※認知症や障害などにより福祉サービスの利用や生活費などを計画的に使うことに不安のある方が、地域において自立した生活が送れるよう、社会福祉協議会が利用者本人との契約に基づいて、日常的な生活援助を行う事業

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問10) これまで担当した保護観察対象者に、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用が必要と思われる方はいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

(問11) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用において、どのようなことが課題だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない
- 5 手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 その他(自由記述)
- 7 わからない

5

(問12) あなたは、成年後見制度(※)についてご存じですか。(〇は1つ)  
※認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、家庭裁判所が選んだ後見人が財産を管理したり、介護などのサービスや施設入所に関する契約を結ぶなどの支援を行う制度

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問13) これまで担当した保護観察対象者に、成年後見制度の利用が必要と思われる方はいますか。(〇は1つ)

- 1 いる
- 2 いない
- 3 わからない

(問14) 成年後見制度の利用において、どのようなことが課題だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない
- 5 手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 申立てから決定までに時間がかかる
- 7 その他(自由記述)
- 8 わからない

(問15) 権利擁護の各種制度について、相談ができるところをご存じですか。(〇はいくつでも)

- 1 尼崎市成年後見等支援センター(※)
- 2 市役所の市民相談窓口
- 3 家庭裁判所
- 4 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等)
- 5 地域包括支援センター
- 6 障害者相談支援事業所
- 7 その他(自由記述)
- 8 知らない

※尼崎市成年後見等支援センター  
南部・北部保健福祉センター内に設置された、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、支援者からの相談に応じ、申立の支援等を行っている窓口。関係機関と密接に連携し成年後見制度の普及啓発や、市民後見人の育成など権利擁護の推進に取り組んでいる。

6

### 6 災害時の支援について

(問16) あなたは南海トラフ巨大地震(※)想定水域内にお住まいですか。(〇は1つ)

※「南海トラフ巨大地震」とは、太平洋沖を震源とする大規模な地震津波災害で、国の試算によれば、30年以内に70～80%の確率で起きると予測されています。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

(問17) あなたは、南海トラフ巨大地震が起きた際に、お住まいの地域でどれくらいの被害が想定されているかをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 まあまあ知っている
- 3 あまりよく知らない
- 4 知らない

(問18) 風水害や地震などの災害が起こったとき、あなたはどこに避難しますか。候補として考えているところにすべて〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 指定避難所
- 2 福祉避難所(※)
- 3 市内の家族・親戚の家
- 4 市外の家族・親戚の家
- 5 市内の友人・知人の家
- 6 市外の友人・知人の家
- 7 宿泊施設
- 8 その他(自由記述)
- 9 わからない

※ 福祉避難所  
高齢者や障害のある人など、要支援者に配慮した避難所のことであり、バリアフリーや冷暖房が完備されていると要支援者の利用に資した環境を確保できる施設。福祉避難所は災害時に必要に応じて開設する2次避難所であり、最初から利用することはできない。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

(問19) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかをご存じでしたか。(〇は1つ)

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはある
- 3 知らなかった

### 7 さいごに

(問20) 生活環境調整や犯罪予防活動、保護観察対象者の就労支援等の保護司活動全般について、ご意見やご提案があれば教えてください。

.....  
.....  
.....

お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

7





# 4. 事業所アンケート調査票

## 尼崎市 地域福祉に関する事業所アンケート調査

「ご記入にあたってのお願い」

- 1 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 2 回答できる質問だけでも構いませんので、ご協力をお願いいたします。

### 1 事業所の概況について

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1)事業所の形態 (○は1つ)	1 入所・居住型 3 訪問型 5 障害者相談支援事業所 7 地域活動支援センター 9 その他(自由記述)	2 通所型 4 複合型(1～3を組み合わせた形態) 6 地域包括支援センター 8 つどいの広場
(2)主な利用者 (○は1つ)	1 要介護(要支援)者 3 知的障害のある人 5 子ども 6 その他(自由記述)	2 身体障害のある人 4 精神障害のある人
(3)所在地 (○は1つ)	1 中央地区 3 大庄地区 5 武庫地区	2 小田地区 4 立花地区 6 園田地区
(4)事業活動年数 (○は1つ)	1 3年未満 3 5年以上10年未満	2 3年以上5年未満 4 10年以上
(5)相談員数	相談支援業務に従事する相談員数 ( )名	

1

### 2 地域での活動について

(問1) 貴事業所は地域において、現在、どのような地域貢献活動の取組を実施していますか。(○はいくつでも)

- 1 子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力
- 2 地域活動のための施設や設備の地域住民への開放
- 3 地域活動への参加・協働
- 4 地域で困りごとの相談を受けられる窓口の設置
- 5 地域への福祉等に関する情報発信
- 6 事業所の行事等の参加案内
- 7 その他(自由記述)

8 特に取り組んでいない

問1で「1」～「7」と回答した方に  
(問1-1) コロナ禍での活動をjする上で工夫していることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 人数制限
- 2 マスク着用の義務付け
- 3 定期的な換気
- 4 手指消毒剤の設置
- 5 その他(自由記述)
- 6 活動しているが工夫していることはない
- 7 活動を中止している

問1で「1」～「7」と回答した方に  
(問1-2) コロナ禍での活動をjする上で課題となっていることはありますか。

問1で「8」と回答した方に  
(問1-3) 地域において活動に取り組んでいない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 人的、財政面でj余裕がないため
- 2 地域で活動するきっかけがないため
- 3 地域の情報を知らないため
- 4 新型コロナウイルス感染症の影響のため
- 5 その他(自由記述)

2

再び、全ての方に

(問2) コロナ禍で、地域住民と関わる機会は変わったと思われませんか。(○は1つ)

- 1 大きく減少した
- 2 少し減少した
- 3 少し増えた
- 4 大きく増えた
- 5 変わらない

(問3) 今後、貴事業所が地域において新たに取り組むとすれば、どのような活動ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力
- 2 地域活動のための施設や設備の地域住民への開放
- 3 地域活動への参加・協働
- 4 地域で困りごとの相談を受けられる窓口の設置
- 5 地域への福祉等に関する情報発信
- 6 事業所の行事等の参加案内
- 7 その他(自由記述)
- 8 新たに取り組むを行うことは考えていない

(問4) 地域貢献活動に取り組むためには、どういった仕組みがあれば良いと思われませんか。(○はいくつでも)

- 1 資金面での支援
- 2 地域の団体等からの呼びかけ
- 3 活動している団体の情報や活動内容がホームページなどでいつでも確認できる環境
- 4 その他(自由記述)

3

### 3 他関係機関等との連携について

(問5) 貴事業所を利用する人や世帯の中に貴事業所の担当分野以外の困りごとを抱えている人はいますか。(○は1つ)

- 1 よくいる
- 2 とときどきいる
- 3 あまりいない
- 4 いない・把握していない

問5で「1」～「3」のいずれかに回答した方に  
(問5-1) 担当分野以外で把握している内容はどのような分野のことですか。  
(把握していない場合は空欄としてください。)  
※ 複数の課題がある場合は対応している主な内容で、件数に計上してください。

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| 1 認知症(疑いも含む)の方の対応            | 約( )件 |
| 2 高齢者、障害者虐待の対応(疑いも含む)        | 約( )件 |
| 3 子どもの虐待の対応(疑いも含む)           | 約( )件 |
| 4 DV(別紙「用語解説」を参照)の対応         | 約( )件 |
| 5 子どもの貧困の対応                  | 約( )件 |
| 6 引きこもりの方の対応                 | 約( )件 |
| 7 8050 問題(別紙「用語解説」を参照)への対応   | 約( )件 |
| 8 薬物依存症・アルコール依存症の対応          | 約( )件 |
| 9 ゴミ屋敷の対応                    | 約( )件 |
| 10 犬猫の多頭飼育崩壊(別紙「用語解説」を参照)の対応 | 約( )件 |
| 11 高齢者・障害者等の消費者被害への対応        | 約( )件 |
| 12 その他の課題(自由記述)              | 約( )件 |

問5で「1」～「3」のいずれかに回答した方に  
(問5-2) 担当分野以外の困りごとを把握した場合にどう対応しましたか。(○は1つ)

- 1 他関係機関等につないだ・つなごうとしている
- 2 他関係機関等につなごうできなかった

問5-2で「2」と答えた方に  
(問5-3) 他関係機関等につなごうできなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 他関係機関等の機能・役割がわからないため、どこに連絡して良いかわからない
- 2 他関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
- 3 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
- 4 個人情報取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
- 5 その他(自由記述)

4

(問6) あなたが支援をしている対象者の相談経路はどのような形が多いですか。(〇はいくつでも)

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 本人                  | 2 家族                      |
| 3 友人・知人               | 4 近隣住民                    |
| 5 福祉協会(自治会・町会)等の役員    | 6 民生児童委員                  |
| 7 保護司(別紙「用語解説」を参照)    | 8 地域のボランティア活動者            |
| 9 サービス提供事業者           | 10 医療機関の医師、相談員            |
| 11 南部・北部保健福祉センター(※1)  | 12 子どもの育ち支援センター「いくしあ」(※2) |
| 13 6地区の地域振興センター(※3)   | 14 各地域総合センター(※4)          |
| 15 11~14以外の本庁、保健所の各窓口 | 16 地域包括支援センター             |
| 17 障害者相談支援事業所         | 18 地域福祉活動専門員(社協支部事務局)(※5) |
| 19 業務を行う中で独自で見見、把握    |                           |
| 20 その他(自由記述)          |                           |

※1 市内南北2か所に設置している、福祉や保健に関する各種相談や手続きを一体的に行う相談支援機関。主に、生活保護に関すること、障害者・障害者の相談に関すること、生活支援(通人相談・看護老人ホーム等)、各種申請受付に関すること、しごとや暮らしに関すること、成年後見制度に関すること、保健に関すること、乳幼児健診等の業務を行っている。

※2 子どもや子育てに関して課題や困難を抱える子どもたちと子育て家庭に寄り添い、様々な関係機関が連携しながら、切れ目なく継続的に支援を行う市の相談支援機関。

※3 市内6地区における協働のまちづくり及びコミュニティ推進の拠点として、地域課題の情報の収集や各種コーディネートを行い、地域に必要な課題・事業を企画・実施するとともに、地域住民への情報提供や相談業務、様々な団体や市民活動グループへの活動支援等を行う組織。

※4 地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進及び人権啓発意識の普及高揚を図り、もって市民福祉の向上に寄与するためのコミュニティの拠点となる施設。

※5 多様化・複雑化した住民ニーズや対応する制度が存在しない課題に対応する住民主体の地域の支え合い活動を推進等していただくため、尼崎市社会福祉協議会が社会福祉協議会各支部事務局に2人ずつ(市内に計12人)配置した専門職員。

(問7) 社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会(別紙「用語解説」を参照)では、住民同士がささえあう・助け合う地域づくりを進めるため、各6地区に、ささえあい地域活動センター「むすぶ」を設置し、地域住民の様々な相談対応や、地域活動の立ち上げ支援、地域活動の担い手の育成等を行っているのをご存じですか。(〇は1つ)

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1 名称も役割も知っている  | 2 名称は知っているが、役割はよく知らない |
| 3 名称も役割も全く知らない |                       |

5

(問8) 貴事業所と関係団体との連携に関して、

- ① 普段の活動の中で相談したり協力を求めるところ  
② これからの活動の中で新たに相談や連携が必要と考えているところ  
について、1~17の選択肢の中からあてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- |                             | ①普段の活動 | ②これからの活動 |
|-----------------------------|--------|----------|
| 1 南部・北部保健福祉センター             | ( )    | ( )      |
| 2 子どもの育ち支援センター「いくしあ」        | ( )    | ( )      |
| 3 6地区の地域振興センター              | ( )    | ( )      |
| 4 各地域総合センター                 | ( )    | ( )      |
| 5 上記以外の本庁、保健所の各窓口           | ( )    | ( )      |
| 6 地域包括支援センター                | ( )    | ( )      |
| 7 ケアマネジャー                   | ( )    | ( )      |
| 8 障害者相談支援事業所                | ( )    | ( )      |
| 9 福祉協会(自治会・町会)等の役員          | ( )    | ( )      |
| 10 民生児童委員                   | ( )    | ( )      |
| 11 保護司                      | ( )    | ( )      |
| 12 ボランティア団体                 | ( )    | ( )      |
| 13 地域福祉活動専門員(社協支部事務局)       | ( )    | ( )      |
| 14 福祉サービスを行う民間事業者(NPO法人も含む) | ( )    | ( )      |
| 15 医療機関の医師、相談員              | ( )    | ( )      |
| 16 学校・保育所等の子どもに関する機関        | ( )    | ( )      |
| 17 その他(自由記述)                | ( )    | ( )      |

(問9) 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議のうち、参加しているものはどれですか。(〇はいくつでも)

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 1 地域ケア会議(地域包括支援センター主催) | 2 個別ケース会議(南部・北部保健福祉センター主催) |
| 3 個別ケース会議(いくしあ主催)      | 4 1~3以外の個別ケース会議            |
| 5 参加したことはない            |                            |

問9で「5」と回答した方に  
(問9-1) 関係機関の開催する会議に参加していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 参加する必要性を感じないため | 2 声がかからないため      |
| 3 時間に余裕がないため     | 4 参加することで業務が進むため |
| 5 その他(自由記述)      |                  |

6

再び、全ての方に

(問10) 地域住民や他機関と相談、協働する際に、どういったことにお困りですか。(〇はいくつでも)

- 1 他の関係機関等の機能・役割がわからないため、どこに連絡して良いかわからない
- 2 他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい
- 3 繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある
- 4 個人情報取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない
- 5 その他(自由記述)
- 6 これまでに困ったことはない

#### 4 権利擁護に関する制度について

(問11) あなたは、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)(※)についてご存じですか。(〇は1つ)

※認知症や障害などにより福祉サービスの利用や生活費などを計画的に使うことに不安のある方が、地域において自立した生活が送れるよう、社会福祉協議会が利用者本人との契約に基づいて、日常的な生活援助を行う事業

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問12) 貴事業所の業務を通じて、日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援を行うことがありますか。(〇は1つ)

- 1 日常生活自立支援事業の利用のための支援を行うことがある
- 2 利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
- 3 業務のなかで、日常生活自立支援事業の利用が望ましいと思う人を発見することはない
- 4 わからない

7

(問13) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)の利用において、どのようなことが課題だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関が少ない・周知されていない
- 5 手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 その他(自由記述)
- 7 わからない

(問14) あなたは、成年後見制度(※)についてご存じですか。(〇は1つ)

※認知症や障害などの理由で判断能力の不十分の人に代わり、家庭裁判所が選んだ後見人が財産を管理したり、介護などのサービスや施設入所に関する契約を結ぶなどの支援を行う制度

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容はよく知らない
- 3 名称も内容も全く知らない

(問15) 貴事業所の業務を通じて、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援を行うことがありますか。(〇は1つ)

- 1 成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
- 2 利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
- 3 業務のなかで、成年後見制度の利用が望ましいと思う人を発見することはない
- 4 わからない

8

(問 16) 成年後見制度の利用において、どのようなことが課題だと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 市民や関係者への制度の周知が不足している
- 2 支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない
- 3 相談や支援の担い手が不足している
- 4 支援や連携、相談の窓口となる機関がない/周知されていない
- 5 手続きの負担が重い/わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい
- 6 申立てから決定までに時間がかかる
- 7 その他(自由記述)
- 8 わからない

(問 17) 権利擁護の各種制度について、相談ができるところをご存じですか。(〇はいくつでも)

- 1 尼崎市成年後見等支援センター※
- 2 市役所の市民相談窓口
- 3 家庭裁判所
- 4 専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士等)
- 5 地域包括支援センター
- 6 障害者相談支援事業所
- 7 その他(自由記述)
- 8 知らない

※尼崎市成年後見等支援センター  
 南・北部保健福祉センター内に設置された、成年後見制度の利用が必要な方やその家族、支援者からの相談に応じ、申立の支援等を行っている窓口。関係機関と密接に連携し成年後見制度の普及啓発や、市民後見人の育成など権利擁護の推進に取り組んでいます。

### 5 非行や犯罪をした人の立ち直りについて

(問 18) 非行や犯罪をした人の立ち直りに必要だと思うことはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 住まいの確保の支援
- 2 就労支援
- 3 就学支援
- 4 経済的な支援
- 5 地域住民の理解
- 6 人とのつながり
- 7 その他(自由記述)
- 8 特になし

9

(問 19) 貴事業所では、非行や犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(〇は1つ)

- 1 思う・すでに協力している
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問 19 で「1」または「2」と回答した方に  
(問 19-1) どのような協力をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 1 保護司が行う支援に協力する
- 2 協力雇用主(犯罪前歴を承知の上で雇用し協力する事業主)として、犯罪をした人を雇用する
- 3 更生保護施設(出所後、直ちに自立更生することが困難な人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設)にお金や品物などを寄付する
- 4 再犯防止に関するボランティア活動への協力を行う
- 5 広報・啓発活動に協力する
- 6 犯罪予防や更生保護(※)に関することを学ぶ
- 7 その他(自由記述)

※ 更生保護…犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で適切に処遇することにより、その再犯を防止、非行をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することを助けることで、社会を保護し、個人と公共の福祉を増進しようとする活動。

問 19 で「3」または「4」と回答した方に  
(問 19-2) 協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1 職員や利用者の身に何か起きないか不安だから
- 2 非行や犯罪をした人と、かわりを持ちたくないから
- 3 非行や犯罪をした人と、どのように接すればよいかわからないから
- 4 メリットがないから
- 5 具体的なイメージがわからないから
- 6 時間的余裕がないから
- 7 興味がないから
- 8 非行や犯罪をした人への支援などは国や地方公共団体が行うべきだから
- 9 非行や犯罪をした人に支援などするべきではないから
- 10 その他(自由記述)

10

### 6 災害時の支援について

(問 20) あなたは南海トラフ巨大地震(※)想定津水圏内にお住まいですか。(〇は1つ)  
※(南海トラフ巨大地震)とは、太平洋沖を震源とする大規模な地震津波災害で、国の試算によれば、30年以内に70~80%の確率で起きると予測されています。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

(問 21) あなたは、南海トラフ巨大地震が起きた際に、お住まいの地域でどれくらいの被害が想定されているかをご存じですか。(〇は1つ)

- 1 よく知っている
- 2 まあまあ知っている
- 3 あまりよく知らない
- 4 知らない

(問 22) 風水害や地震などの災害が起こったとき、貴事業所の職員や利用者はどこに避難するか決めていますか。候補として考えているところへ〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1 指定避難所
- 2 福祉避難所(※)
- 3 宿泊施設
- 4 それぞれの家族・親戚の家
- 5 その他(自由記述)
- 6 決めていない

※ 福祉避難所…高齢者や障害のある人など、要支援者に配慮した避難所のことであり、バリアフリーや冷暖房が完備されているなど要支援者の利用に適した環境を確保できる施設。福祉避難所は災害時に必要に応じて開設する二次的避難所であり、最初から利用することはできない。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

(問 23) あなたは、福祉避難所とはどのような場所のことを指すかをご存じでしたか。(〇は1つ)

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはある
- 3 知らなかった

(問 24) 地域にお住まいの要配慮者(※)の避難支援のため、国や県、市では、要配慮者一人ひとりの身体や生活の状況に合わせて、避難方法を事前に決めておく個別支援計画の作成支援を進めていることをご存じですか。(〇は1つ)  
※高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、その他の特に配慮を要する人(災害対策基本法第8条)。

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 知らない

(問 25) 貴事業所では、災害時に備えて、防災マニュアルや事業継続計画(BCP)は策定されていますか。(①・②のそれぞれについて、〇は1つずつ)

	1 策定している	2 策定していない
① 防災マニュアル	( )	( )
② 事業継続計画(BCP)	( )	( )

11

(問 26) 市では、災害時の要配慮者に対する避難支援等の体制づくりに取り組んでいます。貴事業所において、災害時にご協力いただけるものがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 避難所等としての施設(場所)の提供による支援
- 2 備蓄(水や食糧、日用品等)の提供による支援
- 3 貴事業所職員による人的支援の提供
- 4 要配慮者に対する安否確認等の声かけ
- 5 その他(自由記述)
- 6 特になし

(問 27) 貴事業所が地域の要配慮者の避難支援のために、日頃から取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 防災マップ(※)を活用した避難場所や避難経路等の確認
- 2 地域等が実施する避難訓練の参加
- 3 利用者や地域住民への防災対策等の声かけ
- 4 緊急時の連絡先や医療介護の情報、避難場所の把握
- 5 水や食糧、日用品等の備蓄
- 6 その他(自由記述)
- 7 取り組んでいない

防災マップ  
台風や大雨、地震といった災害が起こった時に、住んでいる地域のどこにどのような危険があるか、また、災害時の避難場所等の情報を地図上にまとめたもの。市では、地震、洪水、津波、高潮二にハザードマップを作成している。(詳しくは市のホームページをご確認ください。)

### 7 さいごに

(問 28) 尼崎市のこれからの福祉に関するまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

12

尼崎市の地域福祉に関するアンケート調査結果報告書

【発行】 尼崎市役所 健康福祉局 福祉部 福祉課  
〒660-8501 尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号  
TEL : 06-6489-6348  
FAX : 06-6489-6329

